日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

# 裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２２期・９巻　２０１７年３月号　ＮＯ．１９１

仲間と仲間を結ぶ機関誌

# れいほう

Susono Reihou Alpine Club

山行ＮＯ．１７２７
０３月０４日（土）焼岳

もくじ

表紙
山々のブログ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2p
経過報告　全国連盟・県連盟・東部ブロック会議・・・・・・・・・・・3p
会山行報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4p
個人山行報告
今後の予定

「山々のブログ」　Ｎｏ．１６７

後藤隆徳

# 湯河原梅園入園料問題

その日、湯河原・城山に４名で登山した。
コースは、湯河原駅～梅園～城山～湯河原駅。
駅から順調に歩き梅園着。梅園は、道路両側に出店が沢山あり、多くの観光客で賑わっていた。
梅園は、６年前から２００円の入園料を払って入園する。ただし、それは梅見学者であって、登山者の場合、必ずしもそうでない。
その理由は、城山に上るのに、梅園の中の道を通過しないと上れない。従って、梅園を通るのは仕方がない事なのだ。
入場券は湯河原町の職員が入り口手前で販売していた。当然、我々は入場券を購入せず進んで行った。
そしたら、係りの中年の女性が血相を変えて飛んで来た。「登山も梅園を通るので、入園料を払え」という。
通過する距離は、せいぜい２００ｍ。時間にすれば、１０分程度だ。私は、過去にも払わないで通過した経緯もあり、梅園見学でないので、「払う必要はない」と反論。また、後に続く登山者の為にも安易な妥協は出来ない。
登山道が梅園の中を通っている限り、そこを通過するのは当然。また、幕山には近隣では有数な岩場があり、多くのクライマーが訪れる。クライマーにも同じような対応なのだろうか。そうなら、入園料が登山料になりかねない。
一緒に参加した、富士のＳＡさんは、「２００円だし、揉めるのはイヤだから、払って行きましょう」というが、これはお金の問題でない。
係りの女性は、執拗に食い下がり、多くの観光客の前で、「上に上司がいるから、話をつけよう」と私を先導する。上司は私より若かった。彼は、開口一番「登山目的なら必要ありません」といった。
そもそも、登山者は今までもいた筈。彼らは、何の疑問を持たずに「入園料を払った」のだろうか？

確かに、２００円の少額で揉めたくない。しかし、これは金額の大小の問題でない。誰が考えても筋が通らない。
湯河原町は観光で食っている町。何でもカネカネではないハズだ。
来客には、相応の対応をしていただきたい。また、係りの教育も不十分。
朝から不愉快な一日だった。

2011.02.20、朝日新聞投稿原稿に加筆しました。

**３月度・例会報告**　　**０３月０５日（日）生協会議室１５：３０～１６：３０**

出席者＝後藤、長谷、勝又薫、小島、峰田、

**<u>イ・第６回・東部ブロック会議報告</u>**

＜県連理事会報告＞　　２０１７年３月　５日（日）１５：００～１６：００　サンライフ藤枝

【理事出欠状況】

伊豆ＨＣ　鍋島　要（○）　　あさぎり山の会：斉藤富夫（○）　安倍っ子山の会：竹本幸造（○）三島労山：山口美恵子（○）　　あさぎり山の会：福原勝治　　ＮＭＣ　：海野美春（○）裾野麗峰：小松眞明（代理）　　清水労山：小林幹郎（○）　山登歩山の会：花澤秀治　　駿東山の会：近森正彦（○）　　静岡労山：遠藤春代（○）　山の会ケルン：西森輝茂（○）沼津労山：植松久美子（○）　　静岡労山：瀧　茂（○）　浜松労山：磯部規子（○）ふじ山楽歩：加藤秀子（○）　　焼津山の会：木原　政子（○）

１～３　会長・理事長等の確認

＜訂正＞　　組織部長（東部ブロック）　　後藤隆徳（裾野麗峰）

４　ベルクバハト総会　　⇒　資料のとおり

５．安全登山講習会　　⇒資料のとおり

　現在打診中（竹本会長）

６．財政部から

　　各会に　納入額一覧を送るので納付を！

７．その他　資料のとおり

８．教育遭対

◎ゴールデンウェイ登山計画提出用紙を送るので提出を

◎各会　アマチュア無線　コールサイン所有者とそのコールサインを知らせてほしい

９．組織　　次の２点を追加で取り組む

◎登山時報の購読推進

◎５０期に新加入した会員数、そのきっかけ（ＨＰ・紹介など）を把握（斎藤理事長より）

　⇒組織部より記入用紙をおくります。

次回　専門部担当者会議／第２回理事会　５月２１日（日）

「清水で」と連絡しましたが、清水区の公民館関係は休館日でした。改めて場所等おしらせします。

**ロ・２０１７年度（２０１７．０２．０１～２０１８．０１．３１）役員**

会長＝勝又陽一

**県連理事＝後藤隆徳**

事務局＝後藤隆徳

会計（遭難対策基金）＝長谷章子

**会計監査＝小松眞明**

**文書発送＝加藤秀子**　　**太字＝新規です**

**ハ・会役務の年間手当改定**

会長＝２０００円（**代表者会議出席の場合のみ支給**）

県連理事＝理事会１回につき２０００円（理事会は年間５回）、

事務局＝３０００円

会計＝３０００円

**会計監査＝１０００円**

**文書発送＝１０００円**　　**太字＝新規です**

**二・０１月度・会山行実績**

１．０２月０４日（土）＝御坂・黒岳北尾根～黒岳～南尾根・・・３名

２．０２月２５日（土）＝湯河原・南郷山～幕山・・・１２名

３．０３月１１日（土）＝伊東ＡＬＰＳ・・・６名

**ホ・０２月・個人山行実績**

１．０２月１７日（金）＝赤岳周遊・・・後藤、加藤

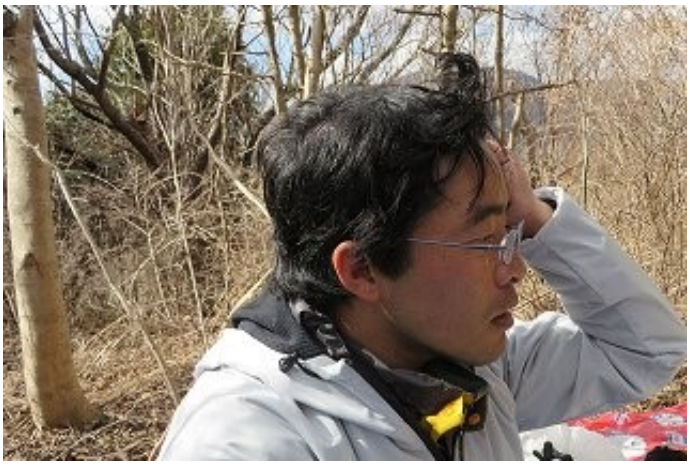
２．０２月１８日（土）＝茅ヶ岳・・・・　　〃

３．０３月０１日（水）＝富士山二ッ塚・山岳スキー・・・　　〃

４．０３月０４日（土）＝焼岳・２１５０ｍまで・・・　　〃

**ヘ・新入会員です（よろしくお願い致しま～す！！）**

加藤秀子さん（富士市在住）



橋本秀樹さん（裾野市在住）

星　千代さん（伊東市在住）

来生（きしき）博子さん（裾野市在住）

**ト・２月度・会山行報告**

裾野麗峰山の会・山行報告書

写真・文　　後藤

日　時　　２０１７．０２．２５（土）無風快晴高温

山　域　　湯河原・幕山（６２６ｍ）

コース　　湯河原駅発８：３１－五郎神社９：１２－南郷山１０：５２－林道１１：１４—自鑑水分岐—幕山１１：４１～１３：０５－梅園公園１４：１４－湯河原駅—三島・反省会（はなの舞）

標高差　　上り　湯河原駅約３０ｍ～幕山６２６ｍ＝約５９６ｍ

参加者　　沖・勝又陽・室伏・橋本・来生（きしき）・大根田・高岡・井上・加藤・峰田・後藤・鈴木新（ゲスト）＝１２名

電車で行く山。湯河原駅で自己紹介。新入会員のＨ君が
初参加。ほか、自称「出戻り会員」、元会員などが顔を
揃えた。駅前は、バスで幕山に向かう人が沢山。歩けばイイのに。

自己紹介

五郎神社の途中で、何処かで見た後姿の美女がいた。街頭販売のミカンを買っていた。声を掛けると、やっぱりＡ山の会のＭ嬢だった。師匠のＳ氏と幕岩クライミングに来たようだ。しばし、歓談後、健闘を約し分かれた。

あさぎり山の会・Ｓ理事長、Ｍ嬢に会った

五郎神社から本格的な上り。６００ｍ余の山だが、侮れない。大汗をかいて南郷山着。ここから大下りで林道に降りる。スッキリしたルートではない。自鑑水は林道から再登しなければならず、寄らなかった。昔は、林道がなく、自然に寄れた記憶だが。

南郷山

林道に大下り

ひと上りで幕山着。頂上は人で溢れ、立錐の余地が無かった。ざっと数えて１００人はいるだろう。一つの山にこれほど人がいるのは珍しい。「梅の力」だろうか。昼食は、カヤトの中でいただく。余りに食物が多く、食べるのが大変だった。Ｈ君に入会祝いのビア１本上げた。

美味しいお神酒もいただき下山。１２時を回ったが、まだ下からゾロゾロ上って来る。中にはスカートのお嬢様もいた。右手に幕岩が見えた。多くのクライマーが取り付いていた。後で聞いたら、Ｓ氏は１６時ころまでいたそうだ。

大賑わい

物凄い人・人

本日の料理

右手に幕岩を見て梅園を下る。そういえば、大昔、幕岩で岩トレを思い出した。若い頃は、私も一応「クライマー」で、冬の岩壁も上った。

冬は以前、書いた「甲斐駒摩利支天中央壁」「八ッ・大同心壁」「阿弥陀北西稜フランケ」「北岳バットレス」など。夏の壁は、日本アルプスの主な所は、ほとんど上っている。
滝谷（ドーム、第四尾根）・前穂高東壁右岩稜・谷川岳各ルート）・八ッ（全ルート）・剣岳（チンネ、八ッ峰、本峰南壁）・屏風岩、北岳バットレス（全ルート）、屋根岩など。

当時の山岳会は、いわゆるピークハント登山は、馬鹿にされ、登山は全てクライミングだった。ま、若かった訳です。

下山

下部は満開

幕山全景

梅園の梅は、全体的に早かった。下部は満開だったが、中部
から上部は、５分咲きだった。駐車場付近は、人でゴッタ返し
ていた。トイレから出て来ると、仲間は「ソフトクリーム」
を舐めていた。まあまあ。
梅園から駅までブラブラ歩く。１４時を回ったが、まだ下から
沢山車が上って来る。湯河原町もイイ稼ぎをやっている。

数年前、ここで「梅園入園料」で揉めたことがある。**（今月号、山々のブログ参照）**
当日私達は、幕山の隣の城山登山に来た。幕山もそうだが、梅園公園
から上るには、梅園を通過しなければ上れない。そこが登山道だからだ。

ところが、梅見学でなく登山に来た我々に「入園料を払え」と
町係りの女性が迫って来た。我々は「梅見学でないから払うのは
おかしい」と応対。そこで「払え・払わない」で紛糾した。
梅園入園料で揉めた、当時の朝日新聞「声」投稿原稿を
見ると、料金は２００ーだった。２００ーは、微々たる
金額だが、これは金額の問題ではない。どう、考えても筋が通らない。

女性は執拗に食い下がる。同行したＳＡさんは、「いいから
お金を払って行きましょう」といった。が、私は、納得しない。
町女性に、「では、上司（責任者）に会わせてくれ」と交渉。
女性は「分かりました」といい、私を公園事務所に連れていった。
そこで、まだ私より若い責任者に会って経緯を説明したら、その
方は開口一番、「払わなくても、イイです」だった。

女性はあくまで、仕事に忠実だったと思うが、誰が考えても、
「おかしいことは、おかしい」それを、しっかり言える世の中
でありたいものだ。それに似たようなことは、沢山ある。
駅までのブラブラは楽しい。ミカン販売を冷やかしたり、
和菓子屋でお菓子を買ったりした。湯河原駅まで上りを行く。

ブラブラ下山

久し振りに参加のＳちゃんは厳しかったが、頑張った。このくらい歩ければ、熊野古道は大丈夫だ。駅で解散。時間がある人は、三島で反省会を行った。
今回は低山だったが、案外、上りがいがあり、イイ訓練だった。ハイクも工夫次第で、イイ山になりますね。

和菓子屋さん

頂上

**チ・２月度・個人山行報告書**

裾野麗峰山の会・山行報告書

写真・文　後藤

山行NO　　ＮＯ．１７２７

日　時　　２０１７．０３．０４（土）無風快晴高温

山　域　　焼岳（２１５０ｍまで）

コース　　中の湯発６：０６－登山口６：５５－りんどう平９：１１－下掘沢―２１５０ｍ
　　１０：３０－下掘沢滑降―梓川１１：３７―林道―釜トンネル１２：５３－出口
　　１３：１０－中の湯１３：２０

標高差　　上り　中の湯約１５２０ｍ～約２１５０ｍ＝約６３０ｍ
　　下り　約２１５０ｍ～梓川約１５００ｍ＝約６５０ｍ

参加者　　後藤・加藤

中の湯発から出発。しばらく林道を歩き、夏道に取り付く。
雪は多かった。夏道の取り付きは、物凄い急登。この上り
に約１時間掛かった。

最初の急登

タンネの森を上る。小さな下りがあるが、なるべく下らない
ようにコースを選ぶ。森を抜けると、りんどう平。急に展望
が広がり、焼岳が遠望出来た。水蒸気の噴出が激しい。

下掘沢上に出た。上りが急になる。雪質はやや不安定だった。
ここしばらく降雪がなく、硬い雪面に一昨日降雪があった。それが
不安定だった。スキーを蹴り込むと、表面４０ｃｍが流れる。
雪崩のリスクがあった。
時間は１０時半。既に５時間近く上っていた。今シーズン、山岳スキー
を本格的に再開した。その最初の山だったが、今日は、ここまでとした。

標高２１５０ｍで登行を終了し、滑降に移る。
このころになると、下から何人かの登山者がやって来た。

スキーヤーが一人、登山が数名だった。

りんどう平

上部の雪は良かった。
下の硬い雪面に、新雪が積もっているので、滑り易かった。
滑降は速い。アッという間に、下掘沢入り口に着く。

ここで、沢を滑るか、尾根を行くか判断される。
下掘沢はベッタリ雪が詰まり快適そう。尾根は、今年の
少雪を象徴し、やや藪が出ている。
迷ったが、結局、下掘沢に入る。
沢はややモナカで雪は重かった。ただ、急なので勢いで
持っていける。

滑降・１

下掘沢を滑るのは、２回目だが、豪快な景観に痺れる。
ガンガン落ちていく。所々、デブリ（雪崩）跡があり
その雪がカチカチなので滑りにくい。

まあ、しばし我慢の滑りだ。下掘沢には、堰堤が四つある。

最初の堰堤と他二つは埋まっていて分からなかった。出て
いたのは、一番大きい堰堤だけだった。ここは右を巻いて越えた。
堰堤下は、穏やかな傾斜が続く。少し滑り大休止。天気は
相変わらず良く、陽光は春そのものだった。右岸に小屋
が見えたが、何の小屋か分からなかった。焼岳の観測小屋
かも知れない。

滑降・２

休憩後、快適に飛ばして梓川に出る。下掘沢で最大の課題は
この梓川。これを如何に渡るかである。過去、落ちて足が
凍った方もいた。しかし、よく観察して、今回は何とか
無事渡れた。むしろ、渡った後の林道の壁が厳しかった。

滑降・３

他の記録を読んだら、この上の橋を渡っていた。距離は
１ｋｍ以上長くなるが、橋が安全といえば安全で確実。林道に
上り、釜トンネルに向かう。トンネルは真っ暗で、１３００ｍは長い。
ただ、昔みたいに、下が凍っていないので有難い。旧トンネルは、ガチガチ

で最悪だった。トンネルから中の湯の車にピックアップして貰い
中の湯着。ここのソバは美味しかった。今回は、今期最初の本格的
山岳スキーだったが、課題も判明し、まあまあの成果だったと
思いました。

下掘沢下部

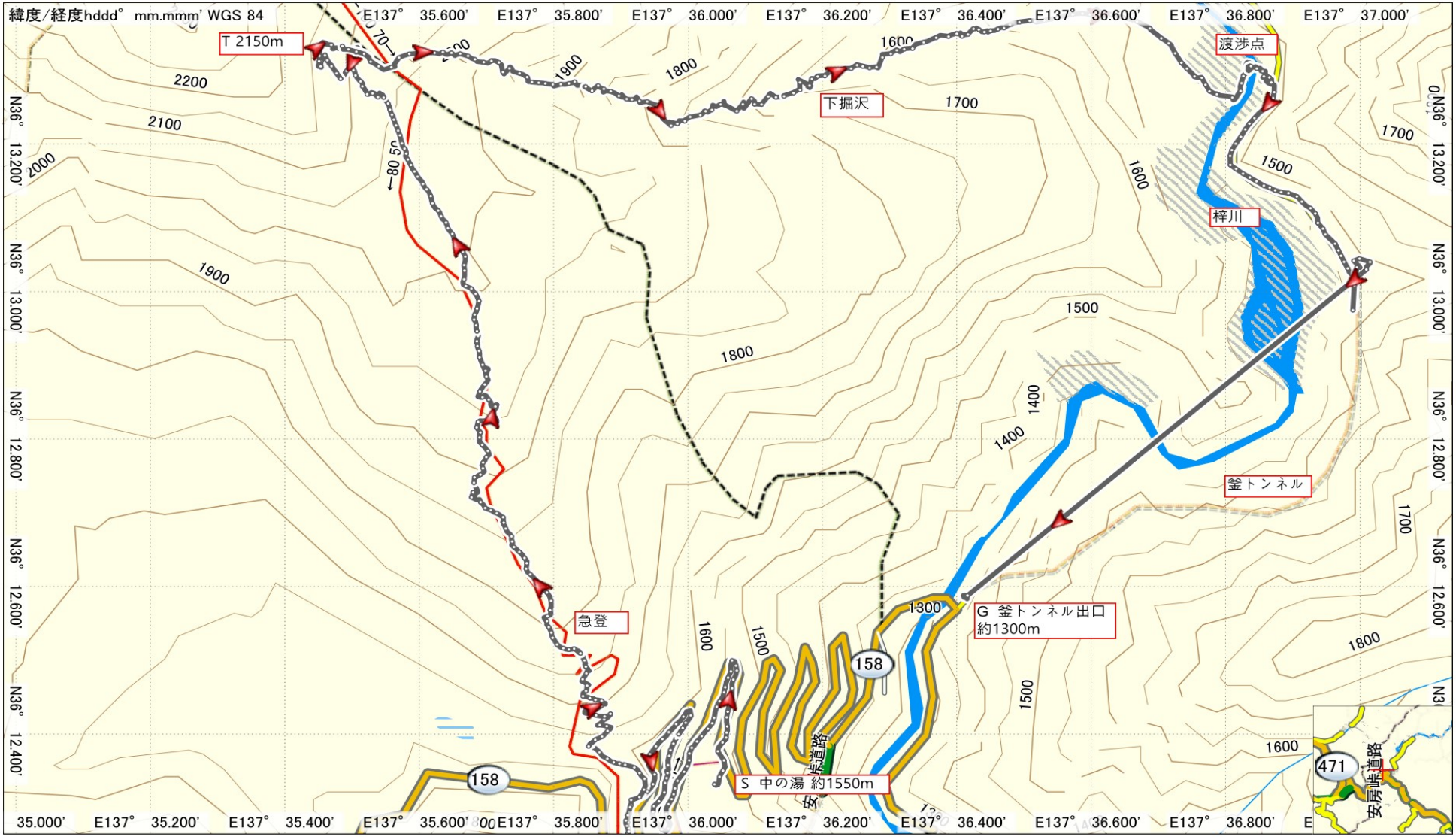
梓川渡渉点

上高地林道

中の湯のソバ

中の湯露天風呂から前穂方面

露天風呂のシジュウカラ




Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2017/03/05 6:00:04

0 m 150 m 300 m 450 m 600 m

GARMIN

MN TN
-7.3°
2010/01/01

**ト・今後の予定**

| | |
|---|---|
| 年末 | 仙丈ヶ岳･小仙丈尾根（リベンジ山行） |
| ０７月３０日（日）～８月７日（月） | 北海道・幌尻岳、ほか |
| **０５月２１日（日）** | **午前・専門部担当者会議** |
| | **午後・第二回理事会** |
| ０５月連休 | 唐松岳～五竜岳（リベンジ山行） |
| ０４月２２日（土） | ハイクの日＝ |
| ０４月１５日（土）～１８日（火） | 山岳スキー＝火打山～笹倉温泉 |
| **０４月０９日（日）** | **４月度・例会** |
| ０４月０８日（土） | 定例ハイク＝お花見ハイク |
| | 丹沢・大野山 |
| ０３月３０（金）～４月１日（土） | 山岳スキー＝守門岳・浅草岳 |
| ０３月２４日（金）～２５日（土） | 丹沢・鍋割山 |
| ０３月１７日（金）～１８日（土） | 登山とスキー＝山の神尾根 |

**ホ・学習会・・・**登山時報の「ハイキングの岩場での２件の転落事故」を学んだ。

**教訓**

**１．悪い所は、皆でお声がけ**
**２．先頭は岩場を下ったら、全員が降りるまで待機する**
**３．岩場の上下にＣＬ・ＳＬが待機し、お声がけ・指示・見守りの励行**
**４．躊躇なく、積極的にザイルを使用**
**５．ルートを知らない引率者は、任命しない**

**リ・今月のベスト・ショット**

２月１７日　赤岳・行者小屋

２月１８日　茅ヶ岳

２月２６日　湯河原・幕山

３月１日　富士山・二ッ塚

３月４日　焼岳・下掘沢（中央の天を突く、オベリスクが凄い！！）

３月１１日　伊東ＡＬＰＳ

３月号　了

追伸

湯河原・梅園、入園料は、当日会った、あさぎり山の会・県連Ｓ理事長の話では、現在クライマーは２００ー支払っているそうだ。ただし、次回の無料チケット１枚（２名まで有効）くれるそうだ。
他のハイカーも支払っているようだとの話。私は、絶対、払う必要はないと思います。

（後藤）